



産官学連携による地域課題への取り組み

～さっぽろイノベーションラボの活動について～

一般社団法人さっぽろイノベーションラボ 代表理事
石田 崇

自己紹介



- 氏名: 石田崇(1974年2月生 50歳)
- 出身校: 北海道大学大学院工学研究科修了(博士)
- 研究室: システム情報工学専攻複雑系工学講座自律系工学分野
- 研究テーマ: 社会性エージェントシステム
- 職歴:
 - 2001年4月 日本学術振興会特別研究員PD
 - 2002年6月 株式会社テクノフェイス設立&入社
 - 2010年7月～ テクノフェイス代表取締役
 - 2017年9月～ さっぽろイノベーションラボ代表理事兼任
- 参画団体:
 - 北海道IT推進協会(常任理事)
 - 札幌商工会議所(情報部会役員)
 - さっぽろイノベーションラボ(代表理事)
 - 北海道モバイルコンテンツ・ビジネス協議会(理事)
 - Sapporo AI Lab.(テクニカルコミッティメンバー)
 - 北海道オープンデータ推進協議会 ほか



札幌市

さっぽろ産業振興財団
札幌総合情報センター
(SNET)
札幌AIラボ
札幌型観光MaaS推進
官民協議会

学

北海道大学
札幌市立大学
室蘭工業大学
北海道科学大学
北海道情報大学

さっぽろイノベーションラボ

メーカー 札幌
企業 企業

札幌市、さっぽろ産業振興財団との積極的な連携にあわせ、メーカー、企業間のビジネスマッチング、共同事業も推進していきます。

会員交流、事業活性化：IT業に限らない、課題解決を目的とした異業種シナジー

■会員(一部)

地場企業とメーカー企業が創出する多様なアライアンスを形成するパートナーシッププラットフォーム

一般社団法人 さっぽろイノベーションラボ 法人会員

(株)テクノフェイス エコモット(株) (株)インフィニットループ (株)バーナードソフト HRMind(同) (株)えぞキッチン イメージナビ(株) フュージョン(株) 日本デイベレイク(株) (株)センティックテクノロジー (株)ハリーマルチシステム (株)GKI (株)グローバルフレーム (株)敷島アプリ開発 レキオスソフト(株) 北海道電子機器(株) トラスティア(株) システムデザイン開発(株) (株)日進サイエンティア (株)流研 (株)インテック	(株)フレンセル (株)HAJエンパワメント (株)北洋銀行 日本電気(株) 富士通(株) 日本マイクロソフト(株) (株)ネクステック NECソリューションイノベータ(株) (株)メディアプロ (株)ワンズ・ファーム (株)ニコンシステム (株)トラックス (株)メイプルシステム (株)トリプルワン (株)ウチダシステムズ 富士フィルムビジネスイノベ- ションジャパン(株) ユニバーサル・システム(株) (株)大電テクニカ (有)凜花 (株)正文舎	TMコンサルティング(同) (株)アジェンダ (株)つなかんアドバンスシステムズ AITOKYOLAB(株) (株)北海道アルバイト情報社 (株)調和技研 (株)ソフトコム (特非)北海道エンブリッジ (株)フシューラボ アンパサンド(株) TIS(株) (株)ミライト 東京海上日動火災保険(株) (株)セラフ (株)スカイネット (株)HBA アクセンチュア(株) (株)ウエルモ オーパス北海道 (株)ウィルシステム (株)HAT (株)アルシス	コンピュータサイエンス(株) ユニカミルタQLソリューションズ(株) (株)ヒト・ラボ (株)シンク (有)オフィスセブン (株)TIG GLOBAL (株)アグレックス (株)甲武システム (株)コンピューター・ビジネス キーウェア北海道(株) (株)北見コンピューター・ビジネス (株)網屋 NECネットエスアイ(株) さかいビジネスコンサルタント事務所 (株)オープンソース (株)ライフドリーム (株)マインドシフト (株)HARP (株)北海道総合情報センター (株)北海道新聞 (株)日立ソリューションズ東日本	(有)北海道タイムサービス (株)L bo ap (株)タクト みらい(株) T I S北海道(株) (株)MamaLady (有)アジャスト トヨタカローラ札幌(株) (株)エヌ・ケー・コンサルティング 北海道電気相互(株) (株)20% (株)アレビ マンパワールグループ(株) Break&(株) (株)エコマバーググローバル北海道 (株)アド・エイト (株)ビューク 日本信号(株) (株)タザワ (株)テクノプロ (株)ドーコン
--	---	---	---	---

住所：〒060-0061 札幌市中央区南1条西6丁目20番地1 ジョブキタビル 8階 space360 Tel：011-596-7974

- ・ 企業会員110社、賛助会員1名、個人会員70名（2024年10月21日現在）

一社) さっぽろイノベーションラボ ボードメンバー



代表理事



株式会社テクノフェイス 代表取締役 石田崇

2002年、オープンソースソフトウェアとインターネットを活用したIT技術を用いて地域経済に貢献することを目的に、人工知能を研究していたドクター達を中心となり札幌ベンチャー企業として設立。北海道IAPP構想のミドルウェア構築を端緒に、スマートフォンを使った自動車のインテリジェント化研究やコールセンターのビッグデータ解析などAI分野で中心的な役割を果たしている。

理事



エコマット株式会社 代表取締役 入澤拓也

2007年、IoTソリューションの提供を自指し設立。IoT用端末製造、通信インフラ、アプリケーション開発並びにクラウドサービス運用等の業務のフックサービスを提供している。防雪装置や監視システムを端緒に、建設現場の維持管理及び防災システムの「コンストラクションソリューション」、リアルタイム動画で社内車両運転を管理する「GPSソリューション」などIoTの先進的領域を担当。

株式会社バーナードソフト 代表取締役 瓜生淳史



2014年、ネットワークの通信を監視やコンサルティングを主要ターゲットとして設立。同システム「テグノス」は「SAPPOROベンチャーグランプリ2016」で大賞を受賞。創業時から研究開発していたブロックチェーンではそのコンサルティングや開発力に高い評価を集めている。ビッグデータのセキュリティやフィンテック用技術としても関心が持たれており、その普及・啓発にも力をいれている。

株式会社流研 代表取締役 高橋敬二



札幌を拠点とし、お客様との相互信頼をモットーに高品質なソフトウェア開発を目指し、1977年7月に創業。官公庁、民間企業用の業務用システム開発分野で、道内でも先駆組として実績を積み上げてきた。お客様の要望に応じ、柔軟なカスタマイズが可能な食品業界に特化したパッケージの販売に力を入れている。電子書籍の制作販売サイトの運営ではデジタル著作権管理技術の海外依存からの脱却を目指し、技術開発を推進。仕事のやりがい、責任と、家庭や地域での充実した生活を調和させ而立する。札幌市ワークライフバランス取組協賛企業としても活動している。

**公立大学法人札幌市立大学AIセンターアドバイザー
株式会社ドーコン交通事業本部理事 酒井裕司**



1979年、札幌市役所入庁。以来、札幌市エレクトロニクスセンターや経済産業省情報政策課出向、情報化推進部情報課副担当課長などIT分野を多く務める。以降、円山動物園副園長を経て市長政策室政策企画部創造都市推進担当部長、環境局より環境担当局長を歴任。2016年から5ヶ年、さっぽろ産業振興財団専務理事として、AIからDXに至る札幌市のIT産業振興施策を推進してきた。現在は、札幌市スマートシティ研究委員会委員長として共創ラボや多くの作業部会を牽引し、札幌市立大学AIセンターのアドバイザー及び株式会社ドーコン交通事業本部理事も務めている。

専務理事



社団法人さっぽろイノベーションラボ専務理事 小見敏章

1978年札幌市役所入庁、市立札幌病院の医事システムの開発や札幌市初の全庁オンラインシステムとなる財務会計システムの開発を担当。情報化推進部情報システム課長、IT推進課長を経て、政策企画部長、観光文化局長、白石区長、子ども未来局長を最後に2019年札幌市を退職。同年6月から札幌総合情報センター株式会社代表取締役。2024年6月から現職。

理事



**日本ビジネスシステムズ株式会社デジタルセールス本部
パブリックイノベーションセンターセンター長兼
北海道伊達市CIO補佐官 大野真澄**

28歳で札幌市にてIT事業、IT教育事業を中心に起業し、これまでに民間企業向けシステムの開発から行政機関ITオペレーターや総務委員、札幌市市長選普及推進協議会にて理事を歴任。地方自治体の選票開票システム向けに、地域における自治体、関連団体との意見交換を通じ、実証・実現モデルを構築・実現してきており、ベトナム・マレーシア・シンガポールといったアジア地区での調査事業やIoTを利用した地産地消の解決に向けた活動も実施。プラットフォームやソフトウェア開発だけでなく、サービスの開発にも一部参画し、全国における地産地消にも取り組んでいる。

日本電気株式会社



国内スマートシティ営業統括部シニアプロフェッショナル 村田 仁

1991年NEC日本電気株式会社に入社以来、官庁系システム事業部門にて宇宙開発事業と科学技術計算分野でのシステム提案、導入、維持運用に従事。2013年新事業推進本部（当時）への異動からスマートエネルギー分野での蓄電池事業の開発を担当。2017年データ活用型スマートシティ事業開発担当としてEUROOSS「RAWARE」を利用した都市OSの国内市場開発を担当。現任に至る。2021年度より、さっぽろイノベーションラボ都市OS部部長に就任。現在はさっぽろ圏データ取引市場コーディネーターも務める。

BIPROGY株式会社北海道支店長 田島充尚



1989年4月、BIPROGY株式会社(旧日本ユニシス株式会社)に入社。金融機関担当の営業部門に配属される。東京本社および関西支社にて地域金融機関における基幹システムでのS&Bとして営業活動を実施。2015年より北海道地区の地域金融機関も担当。主に基幹システムのアウトソーシングビジネス、BPOに注力。2023年4月、北海道支店長として札幌に赴任。道内における地域ビジネスエコシステム創造を目指している。

**富士通 Japan 株式会社ソリューショントランスフォーメーション本部
ビジネスプロデュースシニアマネージャー 長谷川隆彦**



1990年入社以来、主に北海道において製造・流通といった民間企業全般及びJ.A. 大学等の連携に対しておこなうITビジネスの営業に従事。2023年よりイノベーションによるクラウドオpendストリーでのDXを推進している。富士通Japanは、「富士通グループの社会における存在意義である「サービス」「イノベーション」によって社会に価値をもたらす。世界をより持続可能にしていくこと」を国内サービス市場において具現化し、One Fujitsuとして取り組むべく、充足、人口減少や少子高齢化、働き方や価値観など様々な課題を抱えている日本に特化し、地域に根ざす課題の正解から真摯に向き合い、デジタル技術で解する。お客様ニーズに柔軟かつ迅速な対応ができる国内ビジネスの中核会社。

理事



TIS株式会社フェロー 松口裕重

長年にわたり大手メーカーに在籍し、一貫して官庁・公共分野におけるICT領域の新規事業の創出に関わる業務に携わる。その経験とノウハウを活かし、現在は政府、自治体など多岐にわたるスマートシティ、デジタルガバナメントなどの領域で新たなデジタル政策の提案をおこなっている。政府ならびに外部団体、社団法人などの委員を歴任。現在、一般社団法人日本団体連盟理事副会長、一般社団法人オープンガバナメント・コンソーシアム代表理事など、さっぽろイノベーションラボについて、設立当初よりその立ち上げに協力し、以降は顧問の立場でその拡大、内容の充実にも努めてきた。

株式会社メディア・マジック代表取締役 里見英樹



1996年 株式会社メディア・マジック設立。代表取締役北海道モバイルコンテンツ・ビジネス協議会（HMCC）相談役北海道情報システム産業協会 副会長北海道IT推進協会 副会長北海道ソフトウェア事業協同組合 理事札幌商工会経済所 常議員 情報部会長北海道日中経済友好協会 会長星槎道都大学 理事 評議員京都市情報大学院大学 教授（IT企業実践論担当）

フュージョン株式会社代表取締役社長 佐々木卓也



2000年にマーケティング会社であるフュージョン株式会社に入社。2011年より現職。2017年にマーケティング事業会社としてIPO、大手小売業やメーカーなどのマーケティング活動に関わり、データ、テクノロジー、クリエイティブの融合で意味のある顧客体験を生み出す支援を続けている。

札幌総合情報センター株式会社顧問 小角武嗣



1986年、札幌市役所入庁。1980年代から90年代にかけて技術職として専ら農政畑を歩むが、その後財政局財政部在籍中に事務職に転任。以降、地域振興部門、管理部門を中心に市民まちづくり局(現市民文化局)市民自治推進室長、財政局財政部長、清田区長、まちづくり政策局長を歴任。2024年札幌市を退職し、同年4月から現職に就く。気象情報の提供や札幌市の基幹システムの開発・運用、交通ICカード「SAPICA」の発行など行政情報並びに地域情報に関する各種事業に取り組む。

監事 株式会社HAIエンパワーメント
代表取締役 久高秀雄

株式会社北洋銀行
地域産業支援部長 越田雄三

学術顧問 川村秀憲 北海道大学大学院教授博士(工学)
山本雅人 北海道大学大学院教授博士(工学)
川上 敬 北海道科学大学 学長 博士(工学)

事務局担当 山下 淳
参与 高橋昭憲

さっぽろイノベーションラボのご紹介

■設立記念セミナー

会員企業の大手メーカーより、
一線級の講師を招いての
設立記念講演(2017/9)

今、AIの最前線では何が起きているか。

「さっぽろイノベーションラボ」&「SAPPORO AI LAB」共催フォーラム

AIはいよいよ実践フェーズに入ってきた。AIがますます普及することを前に、私たちは様々な準備をしておく必要がある。AIによってビジネスや個人の働き方はどのように変わるのだろうか——それを担うエンジニアは何を学ばなければならないのか——日本のAI開発企業の最前線で活躍する研究者を迎えて、現在進行形の「今」をご紹介頂く。



データサイエンスを駆使して 社会貢献できる新たな価値を創造

NEC データサイエンス研究所 所長

山田 昭雄 さん

これまで、AIを活用したビジネスは、①過去や現在を整理記述する「見える化」、②見えない情報を推定する「予測分析」、③どうすればよいかを指南する「意思決定」、と高度化が進んできた。本フォーラムでは、NECが独自技術により取り組んできた「大規模予測システム」と「予測型意思決定最適化技術」、合わせて「意思決定」が広く普及する際に必要となる、④Win-Win機会を発見・創出する「意思調整」に関する動向もご紹介したい。



進化を続ける人工知能～

「人」と「AI」が拓く未来の可能性を考える～

富士通株式会社 AI サービス事業本部 AI インテグレーション事業部
シニアディレクター 山影 譲 さん

再び注目される「人工知能」がもたらす未来に向けて、富士通は30年以上にわたって培ってきたAIに関する知見や技術を「Human Centric AI Zinrai」として体系化し、各種商品・サービスへの実装を開始。「Zinrai」は富士通グループが取り組んできた「知覚・認識」や、「知識化」、「判断・支援」、そしてそれらを高度化し成長させる「学習」などのAIに関する研究開発の結果である技術やノウハウを結集し体系化したもの。講演では「Zinrai」とこれらのAI技術の適用を支えるソリューション、そしてパソコンで培った技術をベースにしたAIに特化したハードウェアについて、事例を交えてご紹介する。



AIが凄いとされているにも実社会を描けないのは 問題だー本場に意味のあるトレーニングを。

日本マイクロソフト株式会社
深層学習事業開発マネージャー 廣野 淳平 さん

ビジネスにおいても大きな可能性を秘めているAI。しかしAIを扱える人材が足りないのが大きな課題だ。そこで、MicrosoftはPreferred Networksと連携し「ビジネス・経営企画」「エンジニア」「アカデミック」の3軸でトレーニングプログラムを展開していくことにした。ビジネス活用には、AIをどう使えばいいというトレーニングプログラムを充実させていく。

2017
9/29

金 時間:18:00~20:00

会場: さっぽろ産業振興財団 ICC
札幌市白石区東札幌5条1丁目1-1

フォーラム
参加(無料)

一般社団法人 さっぽろイノベーションラボ 共催 財団法人 さっぽろ産業振興財団 / SAPPORO AI LAB

フォーラム終了後は同会場で引き続き
「さっぽろイノベーションラボ」設立
記念パーティーを開催します。

参加費 2,000円は会場入
受付にて申し受けます。

ご参加申し込みはメールで: _____

フォーラム、記念パーティーとも、出席ご希望の方には①氏名②会社等所属機関名
③住所・電話番号・メールアドレス、及び(A)フォーラムのみ参加、(B)フォーラム・記念
パーティーとも参加、(C)記念パーティーのみ参加の別を明記の上、「さっぽろイノベ
ーションラボ」事務局 伊藤 <itou@hrmind.jp> にメールでお申し込みください。

※誠に勝手ながら、お申し込みは先着順とし、定員になり次第締め切らせていただきます。
一般社団法人 さっぽろイノベーションラボ事務局 札幌市中央区南2条西6-14 大友ビル8階

■スマートシティ実現
に向けた首長への提言

2019.2.12
Sapporo Initiative
秋元市長と語る。
Sapporo Initiative 設立記念フォーラム

今、新たに、若手経営者が札幌の未来に向けて発言する。



秋元 市長



川村秀憲 氏



入澤拓也 氏



石田 崇 氏



モデレーター

吉田 聡子 氏

● フォーラム開催時間：16:00-18:00 ● 会場：space360 札幌市中央区南1条西6丁目20番地1ジョブキタビル8階

● アクション
テーマ “SAPICA経済圏”が実現する超福祉都市さっぽろ



北海道のIT産業を4,498億から1兆円規模へーより成長率の高い分野への進出を加速！
成長率の高い企業、外資系IT企業の本社機能の誘致
IT人材輩出の為の教育機関の充実
テレワークの推進

インキュベーション施設の開設
シェアリングエコノミー企業の成長
テクノロジーと芸術の融合
AIを使ったスマートシティ
自動運転の推進
AIの社会実装に向けた政策研究所
北大、札幌市立大との連携強化

to Smart City

■各種セミナー、フォーラムの開催



第1部 データ活用の可能性

- 基調講演 データ取引市場の始動……………札幌市副市長 (CDO) 町田隆敏氏
- 基調講演 データ活用のモデルケース……………札幌市立大学 AIT センター教授 高橋尚人氏
- パネルディスカッション
- モデレーター……………北海道大学名誉教授 (札幌市 CDO 補佐官) 山本 強氏
- パネリスト
- 出光興産株式会社 執行役員 CDO・CIO デジタル・ICT 推進部管掌 三枝幸夫氏
- 札幌市デジタル戦略推進局長 一橋 基氏
- 札幌市立大学 AIT センター教授 高橋尚人氏
- 中外製薬株式会社 上席執行役員 デジタルトランスフォーメーションユニット長 志清聡子氏

第2部 DX人材の育成

- パネルディスカッション
- モデレーター……………株式会社 JAL カード 代表取締役社長 西畑智博氏
- パネリスト
- 味の素株式会社 特別顧問 (前取締役代表執行役員副社長 CDO) 福士博司氏
- SOMPO ホールディングス株式会社 デジタル事業オーナー執行役専務 嶋崎浩一氏
- 一橋大学 経営管理研究科 教授 神岡太郎氏
- 一般社団法人北海道 IT 推進協会会長 (札幌市 CDO 補佐官) 入澤拓也氏

- 開催日時: 令和4年10月21日(金) 13:30~17:00
- 開催方法: 来場型とオンライン型を組み合わせたハイブリッド形式
- 開催会場: 札幌コンベンションセンター 2F「小ホール」(定員 90名)
- 札幌市白石区東札幌 6条1丁目1-1
- 受講方法: 受講ご希望の方は「さっぽろイノベーションラボ」のホームページからお申し込みください。https://sapporo-innovation-lab.jp

主催: 一般財団法人 さっぽろ産業振興財団 SAPPORO INNOVATIONLAB 後援: 札幌市 協力: Sapporo DX Initiative

DXゼミナールin札幌 vol.3

講師の皆様

第1部「データ活用の可能性」



札幌市副市長 (CDO) 町田 隆敏氏
1983年札幌市役所入庁、2006年経済産業省振興部長(財) 日中経済協会派遣(札幌市北京事務所長)、2008年総務局秘書長、2009年市長政策室室長、2013年札幌市教育委員会教育長、2015年札幌市副市長(現職)



札幌市立大学 AIT センター教授 高橋尚人氏
北海道大学工学部土木工学科卒、環形大気保全国企業大気生活環境学、国土交通省都市・地域整備局地方整備課、土木研究所などを経て、2019年7月より札幌市立大学地域連携研究センター AI ラボ特任准教授、2022年4月より現職。



北海道大学名誉教授 (札幌市 CDO 補佐官) 山本 強氏
1978年北海道大学工学部工学研究科修士課程修了、以降、富士通株式会社、北海道大学工学部講師、助教授、同大大型計算センター教授、同大情報科学研究科教授・特任教授、同大産学連携推進センター長、産学推進本部長などを兼務するとともに、北大発ベンチャー企業株式会社メディカライフテック設立に参加し同社取締役 CTO として同社の創業に参画。



出光興産株式会社 執行役員 CDO・CIO デジタル・ICT 推進部管掌 三枝幸夫氏

1985年ブリヂストン入社、生産システムの開発、工場オペレーション等に従事。2013年に工場設計本部長となり、生産拠点のグローバル展開を推進。2016年に生産技術担当執行役員、2017年より CDO・デジタルソリューション本部長となり、全社の DX、ビジネスモデル変革を推進。2020年より出光興産 執行役員 CDO・デジタル変革室長、2021年より現職。



中外製薬株式会社 上席執行役員 デジタルトランスフォーメーション統括 デジタルトランスフォーメーション ユニット長 志清聡子氏

北海道大学法学部卒業、1986年日本アイ・ビー・エム株式会社入社、IBM Corporation (NY) に向向後、2009年に執行役員として公共事業部長、セキュリティ事業本部長、公共事業部長を歴任。2019年5月中外製薬株式会社へ入社。執行役員 IT 統括部門長、執行役員 デジタルトランスフォーメーションユニット長を歴任後、2022年4月より現職。パナソニックコネクティブ株式会社 社外取締役、北海道大学 新卒キャリアレジリエンス推進委員会 セキュリティ戦略本部 専門調査会委員。



札幌市デジタル戦略推進局長 一橋 基氏

1988年札幌市役所入庁 2014年経済産業省振興部長経済企画課長、2016年まちづくり政策局 ICT 戦略・創造部推進担当部長、2019年経済観光局産業振興部長、2021年総務局デジタル推進担当局長、2022年現職

第2部 DX人材の育成



一橋大学 経営管理研究科教授 神岡 太郎氏

1990年北海道大学大学院博士課程(行動科学専攻) 単位取得退学、1990年一橋大学学術専任講師、2004年より商学研究科教授を経て現職。2007-2008年役員補佐を兼務。学外では2010年より政府情報システム改革検討委員会委員(総務省)等も務める。



株式会社 JAL カード 代表取締役社長 西畑智博氏

1984年日本航空入社、1990年代より JAL の e ビジネスを推進。2014年より執行役員として旅客サービスシステムを刷新する SAKURA プロジェクトを推進。2019年より常務執行役員 デジタルイノベーション本部長として JAL の DX、新規事業創造を推進。IT Japan Award グランプリ、IT 最優秀賞等受賞。2022年6月より現職に就任。



味の素株式会社 特別顧問 (前取締役代表執行役員副社長 CDO) 福士博司氏

1984年の薬師入社、アミノ酸、ヘルケアを主体としたグローバル事業を構築。2019年から代表取締役社長 CDO として全社のデジタル・トランスフォーメーションを推進。2022年6月より特別顧問。その傍ら、アドメック・スルを創業し CEO 就任。発祥創社外取締役、等印メダリウム創社外取締役、債権マーケティングソリューションズ社外取締役、執行役員兼顧問、IMMUTAS 顧問など、1000 パーセント・ソリューションズ、現職、We Will Make the World Green, A Strategic Approach to Environmentally Sustainable Business などの著書。



SOMPO ホールディングス株式会社 デジタル事業オーナー執行役専務 SOMPO Light Vortex CEO 嶋崎浩一氏

1981年三菱商事入社。2000年から米国で複数 ICT スタートアップを設立・経営。2016年5月、SOMPO ホールディングスのグループ CDO、2021年4月、デジタル事業オーナーグループ CDO 執行役専務。2022年4月から現職。Palantir Technologies Japan や SOMPO Light Vortex の CEO も兼務。



一般社団法人北海道 IT 推進協会会長 (札幌市 CDO 補佐官) 入澤拓也氏

1980年生まれ、北海道札幌市出身。米 Highline Community College を卒業後、帰国し 2002 年 クリプトン・フューチャー・メディア株式会社に入社。2007 年、IoT ソリューションを推進するエコモット株式会社を設立。IoT 端末開発、通信インフラ、アプリケーション開発、クラウドサービス運用等の業務のワンストップサービスを開発。2017 年、IoT 推進協議会 会長。2018 年東京マーズ・エス・シー、2019 年札幌市立大学 産学連携推進センター 大員。2020 年 5 月より北海道 IT 推進協会会長。2022 年 4 月より札幌市 CDO 補佐官を務める。

■事業事例(介護デジタルハッカソン in 札幌)

福祉・介護の課題を デジタル・デザインので 解決せよ

介護デジタルハッカソン in 札幌

Wakamono Innovation Network



参加者全体へのメリット

- ・ Learn(学び)→介護・IT・デザインに関して、有識者による勉強会・体験イベントを複数回実施予定!
- ・ Link(つながり)→多様な専門性を持つ同世代の仲間と出会う!
- ・ Lead(行動)→課題に臨機応変に対応する日本社会に対して、自らアクションを起こせる!

優秀チームへのメリット

- ・ 上位チームには賞金あり!1〜1位は10万円、2位以下も賞金&賞品あり!
- ・ 自分たちのアイデアを現場で試せるチャンス!
- ・ マスコミ、関係企業・団体取材してもらええるチャンス!



スケジュール

- ・ キックオフ: 11/7(土) 13:00-17:00
- ・ 最終審査: 2月下旬予定
- ※オンラインの勉強会やアイデアフィードバック会も実施予定
- ※活動概要・場所はチームごとに決定可能



参加費

無料



運営

- ・ 主催: 一般社団法人さっぽろイノベーションラボ
- ・ 共催: アクセンチュア株式会社
- ・ 後援: 札幌市、NoMads、一般社団法人北海道介護支援専門員協会



募集対象

- ・ 専攻が、大学・大学院に在籍する学生、介護施設で働く若手社員
定員50名
- ※介護・IT・デザインの知識・経験レベルは不同
- ※社会人の専門知識によるオンラインのサポート有



参加方法

下記QRコードから参加申込フォームにアクセス
10/31(土) 締め切り



問い合わせ

- ・ 一般社団法人さっぽろイノベーションラボ
- ・ 担当者: 大野 (幸恵・桃山)
- ・ TEL: 011-596-7974
- ・ MAIL: staff@sapporo-innovation-lab.jp

キックオフイベント

2020年
11/7(土) 13:00-17:00

参加申込は
こちら▼



新聞購読・無料おためし



紙面を見る
おくやみ

北海道新聞 どうしん電子版

2021年5月25日 火曜日 (大安)

ホーム ニュース スポーツ 地域面 社説・コラム 連載・特集 防災 動画・写真

北海道 新型コロナ 主要 社会 話題 経済 政治 国際 文化・芸能 暮らし 医療・健康

ニュース > 北海道

PR JAROって何じゃろ!? 日本広告審査機構

PR スポーツ用義足は20万円もする!? 預金を... 大和ネクスト銀行

北海道 医療・健康 介護 IT・ネット

シェア ツイート

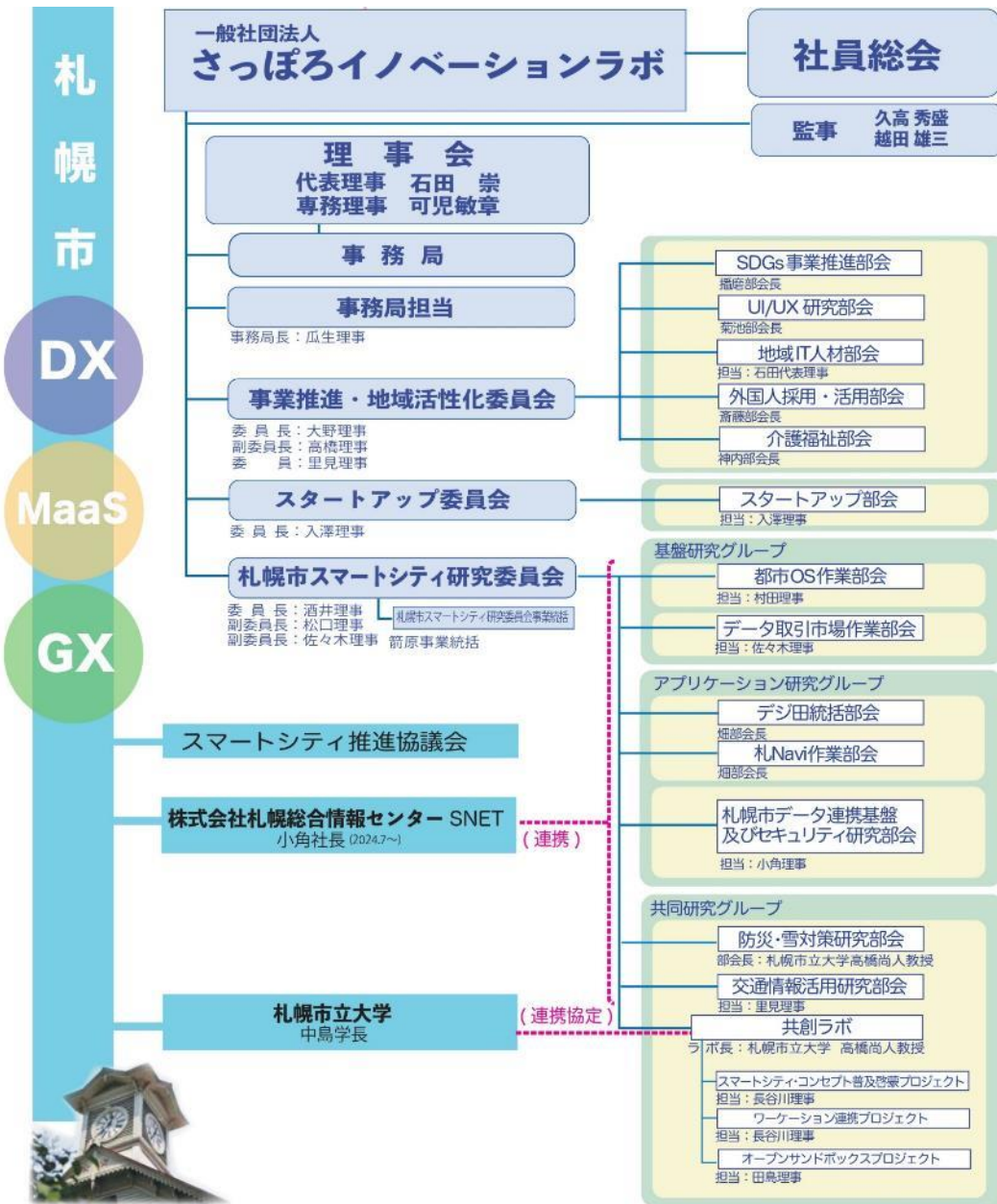
ケアマネ業務、アプリで効率化 道内介護コンテスト 考案チーム最優秀に

03/10 05:00

介護現場に役立つアプリの開発を競う道内初のコンテスト「介護デジタルハッカソン in 札幌」が行われ、ケアマネジャーの業務を一体的に効率化するアプリを考案した学生らのチームが最優秀賞に選ばれた。会話の音声からスケジュールをカレンダーに自動入力する機能や、各患者のかかりつけ病院がすぐにわかる機能などが、現場のニーズに合っていると評価された。

札幌に拠点を持つIT企業などでつくる団体「さっぽろイノベーションラボ」が、介護とITの融合を担う人材を育てようと開催した。専門学校生や大学生、介護施設職員ら28人が参加し、4チームに分かれて昨年11月から聞き取り調査などで介護現場の現状を把握し、課題解決を図るアプリを開発。最終審査は先月27日に行われた。

さっぽろイノベーションラボは「介護だけでなくさまざまな社会課題の解決をテーマにして今後も開催を続けたい」としている。(権藤泉)



課題意識を持つ会員企業
による各種部会設立

部会体制による地域課題、
業界課題への取り組み

主な活動

- ・セミナー/勉強会
- ・共同事業
- ・人材交流
- ・産官学連携による共同研究
- ・合同採用イベント
- ・公共団体への提言・提案
- ・助成金獲得



[TOP](#)

[トピックス](#)

[プライバシーポリシー](#)

[札Naviを使ってみる](#)

[お問い合わせ](#)

札Naviがあなたの街の 周遊をお手伝いします！



札Navi（さつなび）とは、あなたの街に寄り添い観光・地域周遊を促すサービスです。観光客だけではなく、地域住民にも便利で嬉しいサービスを提供します。



SCROLL
DOWN



SAPPORO for 新・さっぽろモデル

出展：札幌市スマートシティ推進協議会

「さっぽろスマートID」を登録すると、以下サービスを受けることができます！

地域情報をお届けします！

お住いの地域に関するお買い物情報やイベント情報など、生活が便利に楽しくなるような情報を受け取ることができます。



近隣施設までの交通案内を確認！

銭湯や飲食店、生活に欠かせない医療機関や美容院などを調べることができます。また、目的の周辺のトイレや公衆Wi-Fiなども事前にチェックすることができるので外出時にも安心です。



廃棄になりそうな食品を減らそう！

地域の飲食店から、やむを得ない事情により廃棄になりそうな食品を受け取ることができます。



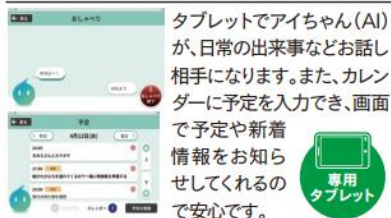
健康を見直そう！



体重、血圧を日々入力してご自身の健康管理に役立てましょう。地域の皆さんと歩数を競い合うこともできます。



AIとおしゃべり 今日の予定や新着情報をお知らせ



屋内農園で野菜を育てよう！

地域の皆さんと一緒に野菜を育てるので初心者でも安心して参加できます。収穫した野菜でカレーパーティーなどのイベントも企画中です。



ありがとうございました

ご入会企業募集中です

